



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2020年03月23日 第962号「週刊五十嵐レポート」

命を守ることが経済を守る

「稲盛和夫の実学」(日本経済新聞社)より。「松下幸之助氏の講演を聞いた。テーマは『ダム経営』。経営をする際、ダムの蓄えを持って事業を進めていかなければいけないと説いた。話の後、どうやったら余裕のある経営ができるかと質問があった。幸之助氏は、『その答えは自分も知りません。しかし、余裕のある経営が必要だと思うこと』と答えた。私(稲盛和夫)はこの言葉に深く心を動かされた。何かをなそうとするときは、まず心の底からそうしたいと思ひ込まなければならない。

週刊ダイヤモンドに星野リゾートの星野佳路代表のインタビュー。業績が悪化している施設には、4つの要素がある。1つは、インバウンド比率が高い。2つ目は、都会にあること。ビジネスマンユースやイベントユースの落ち込み。3つ目は、緊急事態宣言の北海道。4つ目は、エージェント経由で予約する団体旅行。一方で「界、鬼怒川」など温泉旅館は不死鳥のような勢いで予約室数を戻している。公共交通機関を使わず自家用車で出かけられ、個室で食事ができるというニーズが高まっている。非常時のときは労力の割に成果がない。だったら先のことを考えた方がいい。5月以降と夏休みの復活プラン。夏前の5月～7月に国内旅行は爆発すると考えている。

3月22日付、日経新聞の「今週の市場」は「株安への備え強まる」。米国ではホテルやレストランの休業も相次ぎ経済不安が高まるなか、市場関係者の間で危機感は強まる。著名投資家は、「命を守ることが経済を守ることになる。30日間の米国境の封鎖に踏み切るべきだ。」。ただ、「絶好の買い場。一生に一度のバーゲンセール」。ファンドマネージャーは、「恐怖が徐々に和らぐことと期待している。投資家人生において5度目の買い場だ」。

いろいろ交錯している。我々は未体験ゾーンに突入している。日々感染者数の推移を見ているが、比較的低位で推移している。ただ気持ち悪いのは減少していない。すぐに収束するようには見えない。まずは個々の命を守る。コロナと人間の戦い。手洗い・うがい、やるべきことをやる。終戦後、経済が飛躍的に伸びる。チャンス。そのためには生きなければならない。

ちょっと
気になる出来事

毎週日曜日、社長塾終了後に食事する「末広寿司」(ネタは産直。価格はリーズナブル)の話。

コロナウイルスの影響があるかと聞くと、昼間は全く変わりはない。確かにカウンターだけなので、満席になると、今でもしばらく待つことがある。夜は値段が変わるため、遠方から来る客が多い。

今回のコロナでは夜のお客が来なくなった。外出を控えるようになった。昼間はランチ1,000円(税込)でやっているの、近隣者が多く、コロナの影響は少ない。夜は先週から木～土まで2,000円、3,000円コースを作り、近隣者向けにはじめた。評判がいい。

コロナの影響で増えたのが出前。やはり外出を控えている人が多くなったために、土日は出前が多くなった。売上はコロナ前と後では減っていない。そのため緊急融資を受けることができないと大将は笑っていた。

小さな店で地域一番を持っている所はコロナのような時でも強い。夜の対策もしている。生き残るヒントがある。



一口メモ
知識

結果は瞬間、行為は長い

結果を気にする人は、決していい仕事はできません。スポーツで優勝だけを目的にしたら、やっている人も苦しくなります。毎日の練習が楽しく仕方がないというほうがいいのです。そうなれば、優勝してもしなくても関係ありません。結果というのは、瞬間のできごとで、すぐに過ぎ去ってしまうことなのです。けれども、行為はずっと長い間続くものです。その行為を、喜んでできることが大切です。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムツレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

